

第222号

<編集・発行>



八多ふれあいの
まちづくり協議会
TEL 078-982-0514

ふれまち八多

「地域共創科目」の活動を振り返る

～八多町での学び・交流・現場体験を次の挑戦へつなげて～



神戸親和大学 八多町担当メンター 端 義幸

昨年の10月にスタートした神戸親和大学「地域共創科目」の取り組みは、どーんと八多を楽しく元気にする会、八多学園、北神区役所の皆様のおかげで第1弾の取り組みを無事に終えることができました。ありがとうございます。今回の取り組みについて感謝の気持ちを込めて振り返りたいと思います。

今回は大学1年生7名が、①八多超クエスト、ひの家ふえ、magatamafieldでの実体験を通じて、八多町の歴史や農村での生活・魅力・課題を理解する②八多学園の子供たちと交流し一緒に10年後の八多町について考える③八多町民文化祭に参加し、八多町の人々と一緒にイベントを盛り上げる といった3つのことに取り組んできました。まちの歴史や魅力に触れることで八多町への学生のイメージが大きく変わり愛着と特別感が芽生え、八多学園の子供たちが元気にさまざまな意見を発言し、地域の課題に真剣に取り組む姿に接することで八多学園の教育の素晴らしさを体感することができました。八多町民文化祭では、射的ブースの運営等を協働して取り組む中で、八多町の皆様のやさしさと、外部から来た人を自然と受入れる懐の深さ、地域全体で盛り上げようとする熱意を感じることができました。

そして何よりも、八多町を元気にしたいといった志を持つこと、いいと思っただけで熱意を持って行動すること、明るく元気にみんなで楽しみながら地域課題に取り組むことの大切さを学ぶことができました。学生にとっては皆様の活動する姿に触れることができたことが最大の学びだったと思います。

この春には、「炭火焙煎カフェ旧醤油蔵」がオープンし、八多学園では「就学希望選択制」が導入されます。この新しい動きが、これまで八多で育まれてきた文化や里づくり拠点等の活動とつながることで化学反応をおこし、八多町がより元気になることを願っています。

4月より地域共創科目も新たな取り組みがスタートします。新旧の学生が連携しながら、八多町、八多学園、北神区役所の皆様とワンチームで取り組ませていただき、自主的にどんどん提案・実践をしていくことで、八多町の発展にお役に立ちたいと思っています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

北神JAセンター新設に向けて

— 地域とともに歩み、暮らしと農を支える新たな拠点づくり —

JA兵庫六甲八多支店支店長 東耕 恭子

新築工事に伴う駐車場変更とお詫び

北神JAセンター新設に伴う新築工事の実施により、令和8年2月2日(月)より、駐車場を支店向かい側に変更しております。

これにより、ご来店の際には道路を横断していただくこととなるため通行車両に十分ご注意ください。安全を最優先にご利用くださいますようお願いいたします。

工事期間中は、駐車場の変更や工事車両の出入り等により、地域の皆さまならびにご利用の皆さまにご不便・ご迷惑をお掛けいたしますこと、心よりお詫び申し上げます。

北神JAセンター新設工事につきましては、左記のスケジュールを予定しております。

- ・建物完成予定…令和9年1月
- ・外構工事を含めた全体完成予定…令和9年5月

工事期間中は、地域の皆さまの安全確保に十分配慮しながら、円滑な工事の進行に努めてまいります。

北神JAセンターについて

JA兵庫六甲では、将来にわたり地

域の皆さまの期待に応え続けるため、経営改革を進めております。その一環として、このたび「北神JAセンター」を新たな地域拠点として新設することといたしました。

本センターは、北神支店および道場支店をランチとしJA北神地区を広域的な視点から、専門性の高いサービスと、きめ細かな地域対応の両立を目指す拠点です。

○相談体制の充実

北神JAセンターでは、職員を集中的に配置することにより、職員同士が日常的に相談・連携しながら対応できる体制を構築します。

これにより、金融・共済・営農・くらしに関する相談について、組合員・利用者の皆さま一人ひとりに寄り添った、より専門的で質の高い相談対応を行ってまいります。

○営農支援体制の強化

農地活用や農地保全、集落営農や農業法人の設立・運営支援などについて、広域のかつ俯瞰的な視点から支援できる体制を整えます。

地域農業が抱える課題の解決に向け、JAとしてのサポート力を一層高めてまいります。

○組織活動・生活文化活動の発展

組合員活動や生活文化活動については、これまでの地域単位の活動を大切にしながら、合同開催や広域連携を通じて、新たな交流や参加の機会を創出し、地域全体の活性化につなげてまいります。

○総合事業によるワンストップサービス
北神JAセンターでは、信用・共済・購買・営農相談などの窓口機能を集約し、一つの拠点で複数の相談に対応できる「ワンストップサービス」を提供します。

組合員・利用者の皆さまにとってより身近で、利用しやすいJAを目指してまいります。

JA兵庫六甲は、北神JAセンターを核に、北神支店・道場支店ランチと連携しながらこれからも地域に寄り添い、暮らしと農業を支える存在であり続けたいと考えております。
今後とも、地域の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



令和8年度当初 4月の予定

○4月9日(木)

・神戸市立義務教育学校 八多学園入学式 9時30分～ 体育館

○4月12日(日)

・八多地区社会福祉協議会総会	17時～	八多ふれあいセンター
・八多町防火協会総会	18時～	八多ふれあいセンター
・八多町防犯協会総会	18時30分～	八多ふれあいセンター
・八多町自治協議会総会	19時～	八多ふれあいセンター

○4月18日(土)

・八多ふれあいのまちづくり協議会総会 19時～
八多ふれあいセンター

令和7年度

赤い羽根共同募金報告

八多町では令和7年度、民生委員を中心に赤い羽根共同募金活動に取り組みました。集まった募金額は**193,778円**(昨年は170,345円)で、北区共同募金委員会に送金しました。ご協力ありがとうございました。

北京パラリンピックに出場した「ゴールボール」の元日本代表、高田朋枝さん(41)を講師に招いた体験授業が、北区の義務教育学校八多学園であった。目隠しをして鈴の入ったボールを転がし、得点を競う競技

で、4年生7人がプレーを体験。高田さんの講話も聞き、視覚障害や共生社会について学びを深めた。(村上貴浩)

北区・義務教育学校 八多学園

音が頼り児童プレー体験

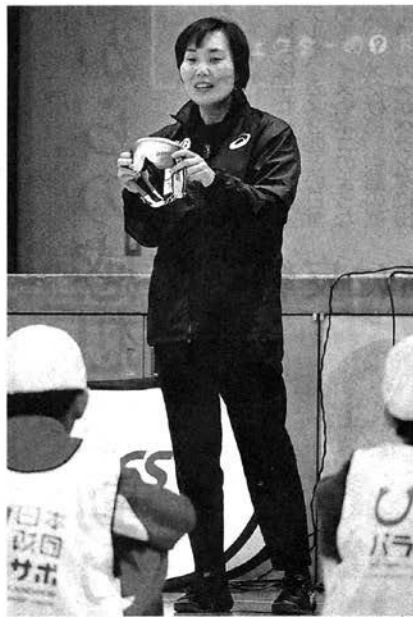
目隠し付け「ゴールボール」

日本財団パラスポーツサポートセンター(東京)が主催する「あすチヤレスクール」の取り組み。ゴールボールは、長方形のコートで、鈴が入ったバスケットボールほどの大

パラ五輪出場 高田さん指導

サイズのボールを転がして相手陣地にある幅9センチのゴールを狙う。守備側は横向きに寝そべって投球を防ぐ。明暗が分かる程度の視力という高田さんは高校時代に競技を始めた。日本代表として2008年の北京パ

視覚障害への学びを深める



目隠しをしてボールを投げる子どもたち

ゴールボールについて説明する元日本代表の高田朋枝さん(いずれも八多学園)

「『真つ暗な状況で耳を頼りにボールの位置を探るのが少し怖かったけど、楽しかった』。櫻野綾汰さん(10)は「視覚障害がある人と接するときは、具体的に伝わる話し方ができるようにしたい」と話した。

高田さんは、ゴールボールに挑戦するきっかけや、自分の自信のなさを克服するために日本代表を志した経緯などを語った。パラリンピックに出場後は、仲間や家族らに支えられていることに気付いたという「人のために頑張ることで力が湧いてくる」と力を込めた。

かけた。

2026年(令和8年)1月22日(木)付神戸新聞

健康セミナー開催

～福祉落語で大笑い！笑って健康に！～



1月28日(水)、八多ふれあいのまちづくり協議会と八多淡河あんしんすこやかセンターとの共催による健康セミナーが、ふれあいセンターで行われました。

「笑って健康になろう」ということで、今回のメインは、兵庫県公認福祉落語家の壽文寿(ことぶきもんじゅ)さんによる福祉落語でした。

ご自宅からふれあいセンターまでの道中、和服姿で神戸電鉄に乗っていると檀家回りの住職に間違われた話から

始まり、笑いを誘うネタをいくつも交えながら「雷と夕立」「縁日の植木」の二席を演じられました。参加者は終始笑いに包まれ、楽しいひとときを過ごすことができました。健康寿命が少し延びたのではないのでしょうか。

福祉落語に続いては、あんしんすこやかセンターからフレイル予防の説明がありました。フレイルとは、年齢とともに心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい状態になることです。フレイル予防には、笑うことも必要と思われま。 「笑うといい顔になります。男は男前に、女はべっぴんさんになります。」と壽文寿さんも言われてました。皆さん、笑っていい顔になりましょう。

八多淡河バス利用者数 (合計・日平均)

※神戸市内のバス停における利用者数(三木市内完結利用は除く)

本格運行	令和7年度											
	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝	平日	土日祝
利用者数(人)	3,730	318	3,069	478	3,429	399	3,056	293				
	4,048		3,547		3,828		3,349					
運行日数(日)	22	9	18	12	20	11	19	9				
日別平均利用者数(人/日)	169.5	35.3	170.5	39.8	171.5	36.3	160.8	32.6				
	130.6		118.2		123.5		119.6					
平均	10～3月合計：						人(平均		人/月		人/日)	

おめでとうございます 岡田好正さん(屏風)に「北防災の賞」

1月24日(土)、第一楼で第41回「北防災の賞」表彰式が行われ、八多町からは八多支団支団本部分団長の岡田好正さん(屏風)が栄えある賞を受けられました。



「北防災の賞」は、神戸市北区内で永年にわたり、火災等から区民を守るために日夜をわかつた活躍され、その功績が著しい消防団員の労をねぎらうとともに、今後の平和な区民生活を願って、さらに一層のご活躍をお願いするため、神戸市北防火安全協会、神戸市北区連合自治協議会の2団体が区民を代表して表彰するものです。

岡田さんは平成4年4月1日消防団員を拝命、勤続27年になります。その間、神戸市長(優良表彰)、兵庫県知事(永年勤続功労賞)など数々の表彰を受けています。おめでとうございます。今後、ますますのご活躍をお祈りいたします。



永年の市民花壇管理活動を通じ「美緑化神戸まちづくり」の推進に努力した功績で上八多美化組合(岡田孝久代表)、中八多美化組合(當坂謙二代表)下八多美化組合(平井憲次代表)が神戸市長表彰を受けられました。永年にわたり町内の美化活動にご尽力をいただきありがとうございました。今後ともご協力をよろしくお願いします。

神戸市長表彰 おめでとうございます
—上八多・中八多・下八多美化組合に神戸市長表彰—

ありがとうございます
ございました

*八多町善意銀行にて芳志をいただいた方々
深谷 向井 由美子様(特別寄付)
吉尾 MONPETIT様(特別寄付)

「北神地域ケア会議」が開催されました

2月5日(木)、北神区役所で標記の会が開催されました。地域ケア会議とは高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、地域のなかでできることを話し合う場を「地域ケア会議」といいます。北神区役所の呼びかけで医療関係者・民生児童委員・ふれまちの役員・あんしんすこやかセンター職員・金融機関など関係機関など約40名が参加。グループワークで事例をもとに「2040年問題」を話し合いました。2040年問題とは団塊ジュニア世代が65歳以上となり、高齢者数がピークに達することで直面する社会課題の総称です。2040年問題に向けて私たちができることを真剣に考えなければなりません。



八多学園で認知症サポーター養成講座を行いました

八多淡河あんしんすこやかセンター

令和8年1月に八多学園7年生の授業で、認知症サポーター養成講座を行いました。神戸市の認知症キャラバンメイトの講師から「認知症って何だと思いますか?」という講義で、症状や対応の心得をお話していただきました。演習を通じて認知症の方へどのように声をかけたらよいかを、より具体的に理解していただけたと思います。



終了後には認知症サポーターの目印であるオレンジリングを皆さんにお渡ししました。この認知症の学習会は「神戸市認知症の人にやさしいまちづくり条例」に基づき地域の力を豊かにするための取り組みとして進められています。地域全体で認知症の方に対する理解が深まり支え合っているように、今後も認知症サポーター養成講座を開催していきます。



中学生の皆様より八多町の高齢者の方へメッセージをいただきました

- いつも学校生活の助けをさせていただいてありがとうございます。
- 困っている人がいたら、積極的に話しかけようと思っているし、周りの人も助けてくれると思います。これからも安心して過ごしてください。
- いつも、私たちを支えてくれてありがとうございます。
- いつまでも元気に過ごしてください。
- 八多町には中学生がたくさんいるので、町で困っている時に見かけたら頼ってください。
- 八多町のみなさんに私もたくさん支えてもらっているのだから、困ったことがあったら支えるので、たくさん頼ってください。
- 通学時、声をかけていただき、ありがとうございます。おかげできつい坂道も心折れず頑張ることができています。
- 自分の経験とか記憶を少しでも生かして、満足いくように生きてほしいです。健康第一で楽しく暮らしてください。



介護の悩みや認知症の相談は▶八多淡河あんしんすこやかセンターへ TEL:078-950-9165 FAX:078-950-9166

編集後記

今年2月上旬の寒波は長期にわたりかなり厳しく、久しぶりに雪もかなり積もり交通も乱れました。2月8日(日)の衆議院選挙も大変でしたが、大切な避難訓練も中止せざるを得ませんでした。

また、来年度改めて計画したいと思いますのでご協力よろしくお願い申し上げます。地震は日本列島各地で頻発しています、南海トラフ大地震もいつ発生してもおかしくない状況です。常に災害に対する備えは大切ですので、よろしくお願いします。春がそこまで来ていますが、もう少し寒さも続くようです。ご自愛ください。